



☆七夕を楽しもう☆



“七夕”ってなあ〜に??

七夕と聞くと、織姫と彦星の物語を想像する方が多いかもしれませんが、実は日本や中国のさまざまな文化が結びついてできた行事です。中国伝来の【乞巧奠（きっこうでん）】、日本古来の【棚機つ女】が結びつき、七夕と書いて「たなばた」と読むようになりました。【乞巧奠】とは、中国で7月7日の夜に行われる行事のことです。手芸などに携わる仕事につく女性が、より優れた技術を授かることができるよう、針仕事をもっと上達するよう、星空に祈りを捧げる日でした。【棚機つ女】とは、日本で古くから行われていた、秋の豊作を願い着物を織って棚に供える行事の時に、機屋（はたや）にこもり神様へ供える着物を織る選ばれた女性の事を言います。この行事は、お盆を迎える準備としても行われ、旧暦の7月6〜7日に実施されていました。そこから、現代の七夕につながっていったと考えられています。






短冊を飾る理由としては、昔の人が織物の上手な織姫のように、「物事が上達しますように」と、願い事をしたのが始まりだと言われています。笹の葉に飾ると、織姫と彦星の力で願いが叶えられたり、みんなを悪いものから守ってくれたりするという言い伝えがあるのだそうです。

《織姫と彦星を作ってみよう!》

<材料・道具>

- ・水性ペン ・霧吹き ・のり ・はさみ ・コンパス
- ・コーヒーフィルター ・色画用紙（肌色、黒色）

<作り方>






- 1、コーヒーフィルターに水性ペンで模様を描きます。

- 2、模様を描いた所に霧吹きで水をかけます。（水をかけると模様がにじんできます!）

- 3、肌色の画用紙に、コンパスで半径4cmの丸を書き、線に合わせてハサミで切ります。（コンパスがない場合は、瓶の蓋でも代用できます!）

- 4、切った丸に合わせて、黒の画用紙で髪の毛を作って貼り、顔のパーツを描きます。髪飾りとしてハートや星のシールを貼っても可愛いです！（髪の毛は、ペンで描いても可能です!）

- 5、模様を描いたコーヒーフィルターに顔を貼ったら完成!!


《親子で楽しく七夕ゼリー作り》

<材料>

- ・炭酸水 100 cc + かき氷シロップ（青） 大さじ 1.5… (A)
- ・牛乳 100 cc + カルピス（原液） 大さじ 1.5… (B)
- ・熱湯 50 cc ・ゼラチン（粉） 5g… (C)
- ・黄桃（缶詰め） 2/1 ・なたでここ（あれば）

<作り方>

- 1、それぞれの材料を混ぜ、(A) と (B) を作っておく。 ※材料を混ぜる所をお子さんと出来ます!

 - 2、熱湯の中にゼラチンを入れ粉を溶かす。粉が解けたら (A) と (B) に半分ずつ入れて混ぜる。 ※ゼラチンを溶かす所をお子さんと出来ます!

 - 3、グラスに (B) を半量ずつ分け、(A) のカップと共に冷蔵庫で1〜2時間冷やす。

 - 4、黄桃を星形の型抜きを使ってくり抜く。 ※型抜きでくり抜く所をお子さんと出来ます!

 - 5、(A) が固まったらフォークで砕き、固まった (B) に盛り付ける。黄桃とナタデココを最後に盛り付けたら完成!

- ※ (A) を砕くのと盛りつけもお子さんと出来ます!

📖 おすすめの絵本

「たなばたウキウキわがいの日!」 作:ますだ ゆうこ 絵:たちもと みちこ

出版社:文溪堂



一緒に遊ぶお友達がいない、ためきのポコくん。たなばたの日 ポコくんは、ある願いを短冊に書きます。でも、短冊はひらひら〜と風に飛ばされきつね村に届きました。ポコくんの願い事は叶ったのでしょうか!?

楽しいお話はもちろん、織姫と彦星の伝説や、親子で楽しめる料理のレシピまで、たなばたにまつわる色んなことがわかる絵本です。